UBE ビエンナーレの今後のあり方を考える全3回の市民と

るワークショップ 2023 報告書

WORKSHOP REPORT UBE PHIT BIENNALE

2023.6.23 色 開催

これまでの課題の抽出と共有

ワークショップのねらい

UBE ビエンナーレ(現代日本彫刻展)は、令和3年に60周年を迎え、令和6年の次回展は節目の第30回となります。今では世界で最も歴史 ある野外彫刻の国際コンクールに発展し、本市の文化レベルの向上に大きく寄与してきましたが、全国的には知名度は高くなく、市民の認知 度や理解もさまざまであるのが現状です。そこで、近年の社会情勢も大きく変化してきたことから、令和5年度に第31回展からの方向性を示 すビジョンを全3回の市民ワークショップの内容を踏まえ策定することとしました。

第1回目を開催しました

|開催日時:2023年6月3日 |開催場所:ときわ湖水ホール |参加人数:22人

|主催:宇部市 企画・協力(株)フジワラボ・(株)POUF・日沼禎子



2012年 UBEビエンナーレ (現代日本彫刻展) を考える会 2018年 彫刻創造空音発信プロジェクト

事前アンケート/ヒアリング結果

1 彫刻の存在そのもの

3 市民と彫刻の関係

2 歴史

4 公平性

その後「課題」と「可能性」を議論

ては<彫刻の選定と配置><メンテナンス><

知名度・広報><人材不足>などに関する具体

してもらうにあたり、まずは事前にヒ

課題

1 彫刻の選定と配置

2 メンテナンス

3 知名度・広報

4 人材不足

2021 年 宇郎市市及100年

第1回目のワークショップ(以下 WS) は UBE ビエンナーレの「これま での課題の抽出と共有」というテーマ で、市民の皆さんが考える現状の課題・ 可能性を共有いただきました。

WS の初めに UBE ビエンナーレの運 営委員でもある藤原徹平氏より UBE ビ エンナーレのこれまでを踏まえた今回 の WS の位置づけの説明を行いました。



自己紹介+アイスブレイク(10分)

「UBEピエンナーレの一番の思い出は何ですか?」 ② 「課題」を教えて ③ 「可能性」を教えて ください (20分) UBEビエンナーレの変える べきところ・気になってい るところは何ですか?

ください(20分) これからのUBEピエンナーレ に期待することは何ですか?

的な意見が挙げられました。 その後参加者とはグループワークで一人ひと ↑ふせんに書き込みお願いします!↑ りの意見をお聞きし議論を行いました。

グループワークの様子



うことで参加者の意見 を確実に記録できます。

意見が書かれた付箋は 大判用紙に貼り、それ ぞれの意見を一覧でき るようにします。

参加者はグループに分

かれそれぞれが思う「課

題」「可能性」を付箋に

書き出してもらいまし

た!付箋に書いてもら



3 付箋を見ながら、一人 ひとりに考えをお話し いただきました。4班 とも意見が絶えること なく議論が白熱しまし



最後にそれぞれの班で 出た意見をまとめ、全

アリングを行っていたこれまでのUB 次回以降のご案内 E ビエンナーレの大賞作家と運営委員 の意見をご紹介しました。そこで出た課題とし

これからの UBE ビエンナーレを 考えるワークショップ 2023

グループワークで出た意見・アイデア

全4班から出た意見(課題・可能性)を一部ご紹介します!次回のワークショップでは この意見を元に課題の解決方法を議論します。

1班



3 班



4 班



課題

可能性

広報や認知不足について

- ・認知度が低い、PR が足りないのではないか
- ・空港についたとき「彫刻のまち」と分からなかった
- ・開催期間が分からない
- ・期間中やってる感じがない(のぼり・ポスター・バナー・cm)
- ・UBE ビエンナーレという名前はどういう意味?
- ・SNS が中途半端
- ・中学校・高校・大学への展開
- ・彫刻教育を市民全体の子ども達に平等に広げるべき
- ・図書館にビエンナーレコーナーがない
- ・専門誌に載っていない
- ・彫刻との楽しみ方をアピールできていない
- ・国際シンポジウムが足りない
- ・作品をどのように理解していいか分からない
- ・総合プロデューサーが必要なのではないか
- グッズが少ないのではないか

彫刻の市内設置場所について

- ・作品の置き場は本人が自由に選ぶべき
- ・作品の市内設置場所の設定はどうなっているのか? 地域によって設置数に差がある
- ・市内でも UBE ビエンナーレへの関心は地域による温度差がある
- ・彫刻が増えていった先どうなるのだろう?
- ・作品の扱いがぞんざい
- ・市民と近い存在であること
- ・設置場所の不公平さ 作品の設置場所を作家が選べるようにしてほしい

審査方法について

- ・基準はもっとクリアーに ・審査レビューを公開してほしい
- ・第三者の権利の侵害チェック(著作権)
- ・参加基準の再考(過去の上位入賞者は除くなど)
- ・審査員に現代アーティストを
- ・作品制作に参加してより自分事になった
- ・庵野さんや YOASOBI など宇部出身の著名人を審査員に入れてみては?
- ・審査員の任期を決めてローテーションする
- ・登竜門として特化するといいのではないか?
- ・市民へ彫刻の選定理由を開示してほしい
- ・コンペ以外の形式による選考を行う

作品について

- ・面白い作品がない
- ・国際芸術としてふさわしいものを選ぶべき
- ・作品のタイトルの意味がわからない
- ・最近の作品のサイズが小さい(基準を変えて欲しい)

その他の意見について

- ・作家・ボランティアをもっと大切にするべき
- ・彫刻を買えるということがもっと知られるべき
- ・彫刻がどのようにつくられたかが見えない
- ・メンテナンスの技術を売りにできるのではないか?
- ・人手不足 ・予算不足
- ・開催期間の再考 (展示期間が1年では勿体ない。)
- ・制作費の補助額は足りているのか?
- ・100年続く芸術祭になれる
- ・遊びの要素がもう少し必要なのではないか
- ・ビエンナーレに来たお客さんがくつろぐ場所が少ない

2023.**7.22 (±)** 10:00-12:00

第1回目に参加していない方・未だ応募していない方で も参加可能です。ぜひとも参加いただきご意見をお聞か 場所:宇部市役所 参加費:無料 お申し込み・問い合わせ先:観光スポーツ文化部 文化振興課 UBE ビエンナーレ推進係

2023.9.2 (±)

ありたい姿を考える

会場:ときわ湖水ホール 参加費:無料 どなたでも気軽にご参加ください!